

Ⅲ 学識経験者の意見（報告書）

1. 意見提出者

植松人美（うえまつひとみ）氏

元北見市立光西中学校長

元北見市教育委員会学校教育部指導室長

岡村金司（おかむらきんじ）氏

北見市PTA連合会 会長

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項の規定により、令和2年度の教育行政方針に掲げた主要施策10項目を中心に成果と課題を検証しました。

2. 点検及び評価に関する意見

○ 植松人美氏

1. 教育委員会の活動状況について

レイマンコントロールのもと、保護者やさまざまな分野でご活躍の方々が教育委員であることは、市民の信頼につながり、市民の意向を反映した教育行政の展開が期待されます。

教育委員会の会議や現場への訪問実績から、コロナ禍のさまざまな制約がある中でも、市民の期待に応えるべく日々努力されておられることがうかがえます。

教育委員会の会議の傍聴者が前年度より増えていることは、教育行政への関心の高まりとともに、広報広聴の成果でもあるので、さらなる情報発信に努めていただきたいと思います。

2. 点検・評価の手法について

「点検・評価シート」を活用した手法は、重点施策を基本的なねらいとして示し、そのねらいを達成するための具体施策、実施状況、成果、課題、今後の方針がまとめられ、全体像が明確であります。

「何をやったか」だけでなく、「その結果何がどうなったか」という成果を中心に示していることは評価できるものであります。また、残された課題、新たに見えてきた課題を提示し、いかに対応していくか具体的に示され、わかりやすいと考えます。

しかしながら、状況は時を経て変化をしていることもあるので、指標の妥当性や目標には場合によっては見直しすることも必要と考えます。

3. 教育委員会の施策について

(1) 学校教育部

点検・評価シート 1 「義務教育学校の開校と小中連携・一貫教育」 (28 ページ)

小中連携など他校種との連携は教育にとって大切なことではありながら、なかなか進まなかったのがこれまでではなかったかと思えます。そのような中、義務教育学校を開校し9年間を見通した教育が実践されるということは、北見市の教育にとって意義深いものと考えます。おんねゆ学園の実践をどう市内の学校に還元させていくかが、今後の大きな課題であると考えます。

点検・評価シート 2 「教育の情報化の推進」 (29 ページ)

ICTの活用は「目的」ではなく、あくまでも「手段」であります。授業の中でどう意図をもって活用するか、教員の専門性が試される厳しい時代であると思えます。「主体性を育む教育」は古くから言われ続けられている教育の目指すべき姿の一つであります。このことにどう生かされていくのか、たいへん期待をしているところです。

点検・評価シート 3 「いじめ・不登校対策の推進と教育相談体制の充実」 (30 ページ)

「教育機会確保法」の趣旨はあくまでも社会的自立の力をつけてあげるための学習機会の保障であると考えられます。「休んでもよい法律」と誤解されているような雰囲気を感じるところです。学校にとって不登校の解決は膨大な労力となることは十分に理解しておりますが、粘り強く指導にあたっていただきたいと考えております。

点検・評価シート 4 「健康・安全教育の充実」 (31 ページ)

新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大するなか、子どもたちが健康で安全な学校生活を送れるよう、感染症の予防にご苦労されていることと推察します。今後、持続的に児童生徒の教育を受ける権利を保障していくため、学校における集団感染のリスクを可能な限り低減していただきたい。また、子どもたちのむし歯予防につながるフッ化物洗口は、歯や口の健康、様々な病気の予防にとっても有益と考えますので、コロナ禍が落ち着いてからの再開を期待しています。

点検・評価シート 5 「安全で安心な教育環境の整備」 (32 ページ)

教育環境の整備としての「学校施設長寿命化計画」は、老朽化の進んだ建物の安全・安心な学校環境を整えていくために必要と考えます。また、社会情勢の変化に伴い、防犯対策やICT教育など、これからのニーズ、学習形態の多様化に適応した環境整備が求められていると思えます。計画の策定がなされたばかりですが、ぜひ早急に1校でも多くの改修を進めて、子どもたちが快適に過ごせる環境が整うことを願っています。

(2) 社会教育部

点検・評価シート 6 「生涯学習機会や学習情報の提供」 (41 ページ)

○地域おこし協力隊 (生涯学習サポート隊)

コロナ禍において、人々の生活様式や学習形態も急激に変化し、市民の学習機会が奪われかねない事態が続いています。そのような中、市民の学びを支え、学習機会を提供することは社会教育行政の重要な役割だと考えます。

地域おこし協力隊のSNSなどを活用した市民の学習をサポートする新しい取り組みは、生涯学習の推進と北見市のPRにつながる活動であると大いに評価できます。

人生100年時代を迎えることで、生涯を通して学び続け、学習成果を活かせる学習環境の構築が求められていることから、今後も隊員の知識や技能を活かした幅広い世代への学習支援と社会の変化に対応した魅力あるプログラムづくりや社会教育事業の更なる充実に期待します。

点検・評価シート 7 「家庭教育の支援」 (42 ページ)

○乳幼児絵本スタート事業

子どもの自発的な読書活動は、幼児期からの読書習慣の形成が大変重要な役割を果たすものと認識します。「乳幼児絵本スタート事業」については、コロナ禍において、事業の中止や規模の縮小を余儀なくされながらも、対象となる親子の利便性の向上を図られており評価できます。今後も社会環境の変化に対応した親子で気軽に図書館を利用できる乳幼児対象事業の充実に期待します。

点検・評価シート 8 「冬季スポーツの振興」 (43 ページ)

市内に2つ目となる通年型カーリングホールが整備されたことにより、小・中学校においてカーリング授業の導入が進み、これまで未経験であった児童、生徒にもカーリングの魅力が伝わり、競技普及とすそ野拡大につながっていると評価されます。

今後においても日本カーリングの拠点として幅広い世代を対象とする体験会の開催、次世代の育成に向けた教室、大会の開催など、施設の利用拡大につながる事業を積極的に進めていただくとともに、引き続き、スキー、スケートなど北国ならではの地域に根ざした冬季スポーツ活動の推進を期待します。

点検・評価シート 9 「文化財の保護と活用」 (44 ページ)

○史跡常呂遺跡

史跡常呂遺跡を構成する「ところ遺跡の森」施設の再整備や「トコロチャシ跡遺跡群」の新たな整備が着実に取り組まれており、地域の歴史や文化を伝える貴重な遺跡の保存・活用が推進されていることは大いに評価できます。

こうした遺跡と施設が、訪れる人々の歴史や文化への理解や体験を促し、生涯学習・学校教育や観光等の様々な活動につながる地域資源として一層活かされていくことを期待します。

点検・評価シート 10**「社会教育施設の整備促進」 (45 ページ)****○北網圏北見文化センターの整備**

コロナ禍での美術鑑賞はストレス解消にもつながることから、市内に美術館がなかった北見市にとって、常設の美術展示室が新しく整備されたことは高く評価されます。

子どもたちにとっても小さな頃から美術作品に触れることはとてもよい経験になり、将来画家などの芸術家を目指すきっかけにもなります。

また、利便性を考慮した年間パスポートの導入も良い取り組みだと思います。

北見地域の画家が描いた価値ある作品が多く鑑賞できることを期待しております。

○岡村金司氏**1. 教育委員会の活動状況について**

教育委員は、多様な属性の委員で構成され、広く市民の意見を反映できる体制になっています。

教育委員会の会議は、審議案件の状況から懸案事項や重要案件が多いことが察することができ、教育現場への訪問や各種行事への出席など、実情を把握したうえで議論を進める姿勢がうかがわれます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の広がりにより、多くの取組に支障があり、その影響は大きいものであったと考えられますが、点検・評価のなかで着実に成果をあげている取組も確認されるので、今後も情報を発信しつつ、市民の視点に立った教育行政の展開に期待をします。

2. 点検・評価の手法について

法に基づき教育委員会が自らの活動の点検・評価を行うことは、効果的な教育行政の推進に資するものであり、市民への説明責任を果たす趣旨からも重要であると考えます。

点検評価の客観性を保つためにこうして意見を添える方法は、その制度趣旨にかなっていると思います。

3. 教育委員会の施策について**(1) 学校教育部****点検・評価シート 1****「義務教育学校の開校と小中連携・一貫教育」 (28 ページ)**

温根湯地区にとってこの義務教育学校の開校はたいへん喜ばしいことだと思います。

9年間を通して「どんな子どもに育てるか」を、保護者や地域、学校が共通認識に立つことは、これからの地域を支える人材の育成に資するものと期待をしています。

点検・評価シート 2 「教育の情報化の推進」 (29 ページ)

ICTの活用はこれからの学校教育には欠かすことのできないものであることは、理解をしています。端末やアプリの迅速な配布は評価できることではないかと思えます。

今後はどう活用されるか楽しみではありますが、昨今のネットモラルのことが気になるところです。たくましく生きることに必要な、本当の情報活用能力を育むことが大切だと考えます。

点検・評価シート 3 「いじめ・不登校対策の推進と教育相談体制の充実」 (30 ページ)

不登校の増加が気になるところです。学校や関係機関の様々な働きかけがある中、それがどのように家庭に伝わっているのかが気になりなところです。

保護者への支援をいっそう充実させながら、問題意識の向上を図っていくことが必要な時代だと考えます。

点検・評価シート 4 「健康・安全教育の充実」 (31 ページ)

全小学校においてフッ化物洗口事業の定着が図られてきたところに、新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止されていることは誠に残念に感じています。

日頃、各家庭での歯磨き習慣が大切なことは言うまでもありませんが、むし歯の予防効果を高めるためにも、コロナウイルスの感染状況をしっかりと見定め、学校や保護者の理解のもとにより安全な実施方法を検討され、慎重に再開をしていただきたいと思います。

点検・評価シート 5 「安全で安心な教育環境の整備」 (32 ページ)

学校は、児童生徒が多くを時間を過ごす学習や生活の場であり、より良い教育活動を行うために、長寿命化改修を進めることで、安全性や機能性の確保をしていくことは必要不可欠な内容であると思えます。

さらに時代の変化に適応した充実した学習活動を支える施設を目指すことは、大いに評価できることであり、今後の学校施設の新たな日常の実現に向けて推進に努めていただくよう期待しています。

(2) 社会教育部

点検・評価シート 6 「生涯学習機会や学習情報の提供」 (41 ページ)

○地域おこし協力隊 (生涯学習サポート隊)

社会情勢が大きく変化する中、市民の学びの場の提供は必須ですが、コロナ禍での事業中止や利用者数の減少に伴い、今後の事業充実に向け周知を活発に行うことが求められます。

新しい生活スタイルに対応した学習支援として、地域おこし協力隊の取り組みは、市民の学習活動を停滞させないためにも必要であり、社会教育関係団体の活動や文化活動などを広く周知することで、団体等の活性化にも寄与していると考えます。

今後、社会で生きがいを持ち続け、心豊かな生活を送るためにも、多種多様化する市民の学習ニーズやさまざまな年齢層に応じた学習機会の提供は必要です。

生涯学習情報誌などを活用した情報の発信と市民の学習活動をサポートする地域おこし協力隊の今後の取り組みにも期待します。

点検・評価シート 7 「家庭教育の支援」 (42 ページ)

○乳幼児絵本スタート事業

子どもの読書推進活動は、成長過程に応じて行う必要があり、乳幼児期は読み聞かせを楽しむことがとても大切な時期であることから、コロナ禍にあっても継続した支援が求められます。

引き続き、児童書の充実や職員の知識の向上、関係機関との連携など、事業内容の充実に期待します。

点検・評価シート 8 「冬季スポーツの振興」 (43 ページ)

小・中学校へのカーリング授業の導入支援と市民利用の促進により、北見市の地域資源であるカーリングを児童、生徒がより身近に感じ、慣れ親しむ環境づくりが「カーリングのまち」として着実に進められていると評価されます

引き続き、2つの通年型カーリングホールを最大限に活用しながら、観光との融合策として、国内外から北見市を訪れる方々にも、カーリング体験や見学で来ていただけるよう、旅行代理店などと連携しながら誘客に努め、カーリング愛好者やファン、応援者の拡大や北見市の知名度向上など、地域の活性化に取り組んでください。

点検・評価シート 9 「文化財の保護と活用」 (44 ページ)

○史跡常呂遺跡

地域の遺跡と文化財を保護し調査研究を蓄積していくことは大切なことと感じておりますが、その成果や情報の公開を通じて多くの方々に価値や魅力を知っていただくことも同様に大切であり、そうした情報発信の推進は大いに評価できます。

ホームページ、印刷物、見学会、講演会をはじめ、情報発信や遺跡に触れる機会の創出には様々な方法があると考えられますので、市民に遺跡や地域の歴史を身近に感じていただけるよう、こうした取り組みの充実に努めて頂きたいと思えます。

点検・評価シート 10 「社会教育施設の整備促進」 (45 ページ)

○北網圏北見文化センターの整備

北網圏北見文化センターの科学展示室はこれまで古い展示物ばかりで、科学の先端を学ぶにはほど遠いものでしたが、毎年新しい展示物に置き換えられることにより、科学展示室の魅力も増すと考えます。

子どもたちがどうしてもと思う不思議な体験が、科学に興味を持つことにつながり科学立国日本を支える子どもたちを育てることが大切です。

都会ばかりではなく地方にこのような科学館的な施設はとても貴重な存在であり、科学展示物の更新も重要ですが、老朽化が進んでいるプラネタリウムの更新なども併せて子どもたちに喜ばれる施設になるよう期待しております。